

児童福祉サービス版

【共通評価基準】

I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 福井県済生会のホームページとは別に、「乳児院」独自のホームページを立ち上げ、乳児院が実施する養育・支援の内容、使命や目指す方向性を示し、新しい「理念と基本方針」を明文化している。また、広報誌、パンフレット、第3期中期事業計画（乳児院）等に記載し、保護者、関係者・機関に配布している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 乳児院のあり方検討委員会、県児童養護・乳児院拡大施設長会議、県児童養護・乳児院拡大施設長会議等に参画するなどして、社会的養護施設の動向についての動向把握や課題分析に努めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 近年増加している「病弱虚弱等児童」及び、「虐待等で一時保護が必要な児童」の課題に対し対応するため、「施設の再整備」(多機能化・小規模化)を進めている。また、コロナ禍で休止していた「子育て短期支援」、「病後児保育」を再開するため、「感染症等発生時の隔離部屋」の整備を計画している。更に、退所後や家庭復帰後のアフターフォロー体制の充実と育児相談事業の充実を計画に盛り込んでいる。「中長期計画と事業計画の具現化一覧表」を作成して、各項目の目標値、実施時期、担当者等を明示している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 管理者による運営委員会で事業計画を策定し、乳児院検討会で事業計画を報告し、職員間において理解を促している。主な内容はホームページ、広報紙「おひさま」などで周知している。	
	改善できる点/改善方法： 事業計画には、事業内容や予算等に関する項目が概略的に明記されているが、各事業の目的や具体的な取り組み内容等をわかりやすく説明した資料を作成するなど、職員の理解を促す工夫が望まれる。日常の取組状況や行事など事業所の取組について保護者等への理解を促すため、保護者会等の設置を検討し事業計画書の把握と理解が繋がる取組みが図られることを期待する。	

I-4 養育支援の質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
9	② 評価結果にもとづき施設として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 組織的にPDCAサイクルに基づく養育・支援向上への取り組みを実施している。SWOT分析した結果や課題は、各自の目標として職員間で共有している。第三者評価結果を分析するグループ3チームが作られ、審査と次の審査の間の2年間の自己評価を実施している。また、その結果を運営委員会と協議・評価し、結果を支部長に報告している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II 施設の運営管理

II-1 施設長の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 院長のみならず全ての職員の役割と責任は、「乳児院業務分掌」に詳細に明記され、乳児院検討会で職員に解説され周知している。また、院長不在時の権限委任も明記している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 院長は、人事、労務、財務等、経営状況とコスト等の分析を行った結果として、養育・支援に不可欠な経営や、業務効果と継続的な取り組みの安定性を図る一つとして、院内物流管理システム（SPD管理）の導入をいち早く取り入れ、経営の改善や業務の指導力を発揮している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 養育・支援に関わる基幹的職員として、家庭支援専門相談員、心理担当職員、里親支援専門相談員を配置し、業務分掌の中に業務と役割を明示している。「乳児院職員に求められる」効果的な福祉人材確保のための取組みを実施している。	
	改善できる点/改善方法： 就業規則は作成されているが、より具体的な「人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）」が明確に定められていないため、職員の専門性、職務遂行能力、成果、貢献度等を評価する「総合的な人事管理」の仕組みの導入を期待する。	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 労働基準法に基づいた就業規則が作成され、コロナ感染休暇、リフレッシュ休暇、短時間勤務、ソウェルクラブ入会もあり、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。乳児院検討会の運営を見直し、職員の意向や意見を検討する環境と、心理士によるメンタルサポートも整え、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 理念と基本方針を整え、「期待する職員像」を構築するために就業規則を整え、職員一人ひとりのための「個人目標管理シート」を作成し、育成に向けた仕組みを構築している。設定した個人目標管理シートに記載された内容を、院長との中間面接によって進捗状況の確認が行われ、職員の育成に向けた取組が行われている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 今年度は、県内・外の大学から3名の保育士希望学生を受け入れている。実習責任者は養育課長が担っている。実習生受け入れマニュアルと実習プログラムに基づき、日勤・夜勤実習、申し送り方法、一日の目標作成、担当職員との振り返りなどが行われる。学校側担当者との連携があり、電話や来院時に協議を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設（法人）における事務、経理、取引等のルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。また、内部監査、外部の公認会計士監査が定期的に行われ、院長から監査概要についての報告を受けている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし	
	改善できる点/改善方法： 地域や学校教育等への交流について、基本的な考え方や姿勢の明文化されていないため、今後は、地域交流の方針などを明文化し、地域や学校への福祉教育への働きかけと交流機会の取り組みが行われることを期待する。	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 済生会乳児院は、当該地域の関係機関・団体（小児療育センター、児童相談所、児童養護施設・乳児院施設長会議、里親会、福井市要対協、福さとプロジェクト）との定期的な交流、協議・情報交換が行われ、児童相談所とは毎月の定例会議を開催し「情報交換記録」が作成されている。こうした交流により、個々の子どもの状況に対応する社会資源リストや資料が、職員、家族等に提供される。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 済生会の地域イベント事業「済生会フェア」を開催、済生会の周知、医療や福祉・健康について学びの場として、ステージ、子育て、フードドライブ、健康診断、在宅介護、無料食品、飲食コーナーなどのエリアを作り事業活動を展開し、マスメディアにも大きく取り上げられている。	
	改善できる点/改善方法： 病後児保育事業（広報誌作成）、災害時ミルク等乳児用品の備蓄などは行っているが、学校教育への交流や地域の防災協力体制、地域住民への福祉避難所として開放等については、支援体制への取り組みを期待したい。	

III 適切な養育・支援の実施

III-1 子ども本位の養育・支援

III-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 入所児童の日常生活面ごと（入浴、排せつ等）に留意事項を明記した、プライバシー保護に関するマニュアルを整備し、オムツ交換台の囲いの設置はもとより、ベッド等への名前の記載など子どもが特定されないよう配慮している。入所時、保護者等に対してプライバシー保護に関する資料を配布し丁寧に説明している。なお、希望する保護者には施設名記載のない封筒を使用するなど配慮している。	
	改善できる点/改善方法： 保護者等に入所時、保護者等に確認した意向に沿って育児、食事、看護等全般にわたり支援している。意思決定が困難な保護者等への対応するためのルールは整備され、写真や絵を用いて分かりやすく説明している。	

Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	① 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
31	② 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
32	③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 保護者等に入所時、保護者等に確認した意向に沿って育児、食事、看護等全般にわたり支援している。意思決定が困難な保護者等への対応するためのルールは整備され、写真や絵を用いてわかりやすく説明している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 発達に応じた養育の確立のため、できる限り担当職員を固定し、子どもの表情や気持ちを確認できるような体制づくりに努めている。給食日誌に、給食時の子どもの表情などの様子をチェックする項目を設け、子どもの健康状態に応じた食事メニューづくりを行っている。子どもの満足を把握するために日常的にクラス毎に個別の検討会議を実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-1-(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
35	② 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
36	③ 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 苦情受付から解決まで、苦情解決の仕組みは確立している。苦情の相談については、迅速に協議し対応した記録を保管している。また、苦情件数についてホームページ上に公開している。苦情等申し出しやすいよう意見箱の設置や匿名のアンケートを年に1回実施している。	
	改善できる点/改善方法： 担当職員以外に相談できる者（相手方）を保護者に伝えているが、複数の連絡先等に関して具体的に記載された文書の作成を期待したい。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
37	① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 看護師を中心とした感染対策委員会を設置し、感染対策マニュアルの作成等、感染症に関する管理体制を整備している。マニュアルは職員がいつでも確認できるようにしている。新人研修時や対応に不安のある職員には実技研修を実施している。感染症が流行期には検討会や日々の申し送り時において周知徹底している。また、職員に対し、囑託医による子どもの病気やケアに関する勉強会を実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 養育・支援について標準的な実施方法は業務マニュアルと養育マニュアルにまとめている。養育マニュアルは子どもの尊重やプライバシーの保護に関わる姿勢を明示している。業務マニュアルには年間、月間の業務計画や、その日のリーダーが何をやるのか事細かく記載している。新人職員には新人研修用の資料をまとめ、入職から3カ月までプリセプター制度により指導を実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
43	② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 自立支援計画策定の責任者及びアセスメント手法はガイドを基に定められ実施している。入所時、保護者等の意向を踏まえ他職種（心理士、看護師、管理栄養士、保育士、児相等）が協議し自立支援計画を作成している。月1回児相との話し合い、子どもの発達に合わせ療育センター受診や心理士による個別のかかわり、また大学講師を招いて指導、勉強会を定期的に行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
44	① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 子どもの記録の保管等は管理運営規則、個人情報保護規程に定めている。記録全般、ネット環境のないサーバーシステムの活用のほか、職員はID・パスワード管理し、漏えい防止に努めている。USBもウイルスチェック対策をしている。記録の管理はICT係により職員に研修を実施している。保護者から情報開示を求められた場合はシステムから必要な情報を抽出し開示できるようにしている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

【内容評価基準】

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

A-1-(1) 子どもの権利擁護		
A①	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設独自の倫理綱領を整備しており、自己評価を毎月行う、毎朝の唱和では曜日別に唱和内容を設定するなど、職員がより意識できるよう取り組まれている。自己評価チェックリストの改善や見直しへの取り組みも図られている	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-1-(2) 被措置児童等虐待の防止等		
A②	① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 被措置児童等虐待の届出・通告制度をフローチャート等でわかりやすくマニュアルに記載している。さらに職員の理解を深めるために、研修会では実際の流れや使い方に関する寸劇を職員が考案・計画・実践し、職員への周知を図っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育支援の基本		
A③	① 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
A④	② 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 穏やかな言葉かけや絵本の読み聞かせなどを通して、喃語を引き出したり、言葉の楽しさを感じられたりできるよう配慮している。一人ひとりの子どもの欲求や要求を理解するために、自己評価チェックリストを通じた振り返りや外部の専門職による助言が定期的に実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(2) 食生活		
A⑤	① 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
A⑥	② 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
A⑦	③ 食事がおいしく食べられるよう工夫している。	a
A⑧	④ 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 栄養士が栄養アセスメント（食生活の状況、咀嚼や嚥下の状況、カロリー摂取状況等）を行い、個別の栄養ケアプラン（目標や方法等）を立て、子ども一人ひとりに合わせた離乳食を進めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(3) 日常生活等の支援		
A⑨	① 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
A⑩	② 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
A⑪	③ 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
A⑫	④ 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
A⑬	⑤ 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： トイレトレーニングの進め方を4段階に整理し、発達段階に応じた関わりの目安としている。絵本や紙芝居、マッサージなどを通して、排泄への興味や意欲を持てるよう心がけている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(4) 健康		
A⑭	① 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
A⑮	② 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 服薬が必要な場合は、2人の職員によって「飲む前」「飲む時」「飲んだ後」の確認を行い、記録（紙面とシステム）に残すことで服薬管理を行っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

A-2-(5) 心理的ケア		
A⑯	① 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 常勤の心理職が配置され、子どもや保護者への心理的援助と共に、職員への助言やスーパービジョンなどを行える体制が整っている。さらに、外部の心理士からも助言を定期的に受ける機会も確保し、心理的支援の充実を図っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

A-2-(6) 親子関係の再構築支援等		
A⑰	① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
A⑱	② 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 家庭支援専門相談員が中心となり相談に応じるが、保護者の希望や相談内容によっては、担当保育士や栄養士、看護師、心理士とも連携し、養育スキルの向上を支援している。対面（面会等）、書面（広報紙、お便り等）、電話、SNSなど多様な手段を工夫し、保護者に応じた情報共有・提供、相談の受付ができる体制を整えている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

A-2-(7) 養育・支援の継続性とアフターケア		
A⑲	① 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 保護者等には、多様な相談窓口（施設長や担当者、家庭支援専門相談員など）があることを明記した書面を提供したり、レスパイトとして施設を利用できることなどを伝えたりして、退所後の支援を行う体制が整っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

A-2-(8) 継続的な里親支援の体制整備		
A⑳	① 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 専任で里親支援専門相談員を配置し、里親委託に至るまでの支援だけでなく、里親会やフォスタリング機関などとも連携し、里親委託の推進に取り組んでいる。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>	

A-2-(9) 一時保護委託への対応		
A㉑	① 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
A㉒	② 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 一時保護受入時及び受入後において、保育士や心理士、家庭支援専門相談員など関係するすべての専門職によって、アセスメントやカンファレンス、情報共有が実施される体制が整っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 緊急一時保護の際、感染症の疑いがある場合は、医務室での観察や病後児室での隔離を行っているが、身体上の問題のない子どもの場合は入所児と同じ部屋に受入れていることから、今後、子どもの心身状態に配慮した対応が望まれる。</p>	